

11月 あかり便り

児童発達支援事業所あかり

鹿屋市笠之原町 45 番 52 号-4

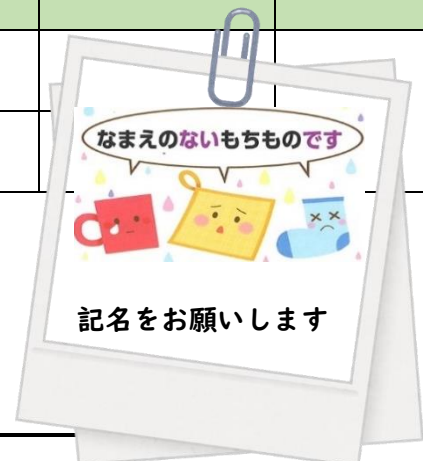
TEL 0994-45-5711

【 11 月 活 動 計 画 】

月	火	水	木	金	土
2日	3日	4日	5日	6日	7日
そら 母子通園 新聞紙あそび	はな 母子通園 新聞紙あそび	にじ 母子通園 ゲーム遊び	ほし 母子通園 音楽・運動	ゆめ 母子通園 お花紙遊び	あかりの日 からだ遊び 対象:年少・年中 定員:8名
うみ 母子通園 ★小麦粉粘土	つき 母子通園 ゲーム遊び	ひかり 母子通園 ★小麦粉粘土	かぜ 母子通園 音楽・言葉遊び	たいよう 母子通園 ★小麦粉粘土	
9日	10日	11日	12日	13日	14日
そら ★お散歩	はな アルミホイル遊び	にじ 感触遊び	ほし ★散歩	ゆめ 母子通園 音楽遊び	あかりの日 音楽あそび 対象:年中・年長 定員:8名
うみ 運動遊び	つき 音楽・運動遊び	ひかり 運動遊び	かぜ ★公園	たいよう 音楽・運動遊び	
16日	17日	18日	19日	20日	21日
そら ★片栗粉遊び	はな ★散歩	にじ 製作・お店屋さん	ほし 新聞紙遊び	ゆめ 母子通園 ★散歩	あかりの日 親子で製作 対象:全対象 定員:8名
うみ 製作遊び	つき 製作遊び	ひかり 製作遊び	かぜ ★片栗粉遊び	たいよう ゲーム遊び	
23日	24日	25日	26日	27日	28日
そら お花紙遊び	はな ★片栗粉遊び	にじ 運動遊び	ほし 新聞紙遊び	ゆめ 母子通園 サーキット(運動)	あかりの日 カレンダー製作 対象:年中・年長 定員:8名
うみ 新聞紙遊び	つき ★クッキング	ひかり 音楽遊び	かぜ ★小麦粉粘土	たいよう ★クッキング	
30日					
そら アルミホイル遊び					
うみ 音楽遊び					

【準備物のお願い】

- ★…汚れてもいい服で登園。着替え持参。
 - ★…帽子、汚れてもいい服で登園。着替え持参。
 - ★…エプロン、マスク、三角巾持参。
- ※汚れた物を入れるビニール袋をバックに入れてください。
※タオル、水筒、シール帳は毎回持参してください。



保護者の皆様へ

～登園時・帰園時の送迎の時間のお願い～

登園時の送り

帰園時の迎え

午前のグループ:9時～9時30分

11時20分～11時30分

午後のグループ:14時～14時30分

16時20分～16時30分

上記時間内に送迎が出来ないときは、電話をいただけるとありがたいです。

どうぞよろしくお願いいたします。



あかりの日予約の詳細は、裏面へ



【あかりの日について】 予約受付開始！ 0月26日（月）8：30～

電話か利用時にスタッフへお伝えください。



色水遊び



あかりの日は、いつも来る日とは少し違うお友だちと過ごす時間です。参加年齢も少し幅があります。

入り口でちょっと緊張するようなお友だちもいるけど、部屋に入ると、いつも待っているスタッフの顔。そして、いつもの自由遊びからの始まっていくあかりの日常。ルーティーンがあることによる安心。とにかくその時間遊べたという満足感があることで、次への切り替えができます。

たいていのお友だちは、いつものあかりでの表情になって過ごしています。

11月も、法人内の作業療法士や音楽療法士による集団療育や親子で参加できるプログラムなど準備しています。

遊びながら、楽しみながら、また異年齢のお友だちとの交流を通して、様々な体験を積み重ねていけたら嬉しいです。

ご参加、お待ちしております。



～情報提供コーナー～

持っている方もおられるとは思いますが…

鹿屋市が出している冊子『**パパ・ママ・子どもの便利帳**』です。

9月に開催した、就学説明会で講師の方から紹介されたものです。

子育てに関する様々な情報が記載されています。

例えば…

防災のころ、お出かけマップ、鹿屋市内の放課後デイや、児童発達支援事業所、医療機関一覧など…たくさんの情報が載っています。

お持ちでない場合は、ぜひ一度手に取ってみてはいかがでしょうか？

市役所子育て支援課や市民課、保健福祉センター等の窓口にも置いてあるとのこと。あかりの入り口カウンターにも数冊は置いてあります。興味関心のある方はお声かけください。

電子書籍版もあります。すぐに見ることができるのでお勧めです。

アプリ「**わが街事典**」をダウンロードすれば、携帯電話からいつでもどこでも閲覧できます。

- ①わが街事典と入力し、アプリをダウンロード
- ②鹿屋市を選択してください



～しつけとは自律を促すこと～

子どもが不適切と思われる行動をした時は、ただ恐怖感を与えるように叱るのではなく、適切なかわり方を具体的に伝えたり、行動を促していく必要があります。発達が気になる子どもに対する対応は時間のかかる場合もありますし、工夫を要するときもあります。

しつけとは、子供の自律を促していくことです。社会的なルールは外から強制するものではありません。

外的強制がなくても、社会に参加できる力をつけていく必要があります。

そして、子どもが失敗を恐れずに取り組める環境も大切になります。もし、子どものとった方法や手段に誤りがあれば、適切な方法を丁寧に教えていく必要があるのです。子どもが取り組んでいるときは、手を出しすぎず、助けを求められるまでじっと待つことも必要です。困ったときに助けを求めることも大切な力になるからです。

（参考：『発達が気になる子へのスモールステップで始める生活動作の教え方』 鴨下賢一著）

